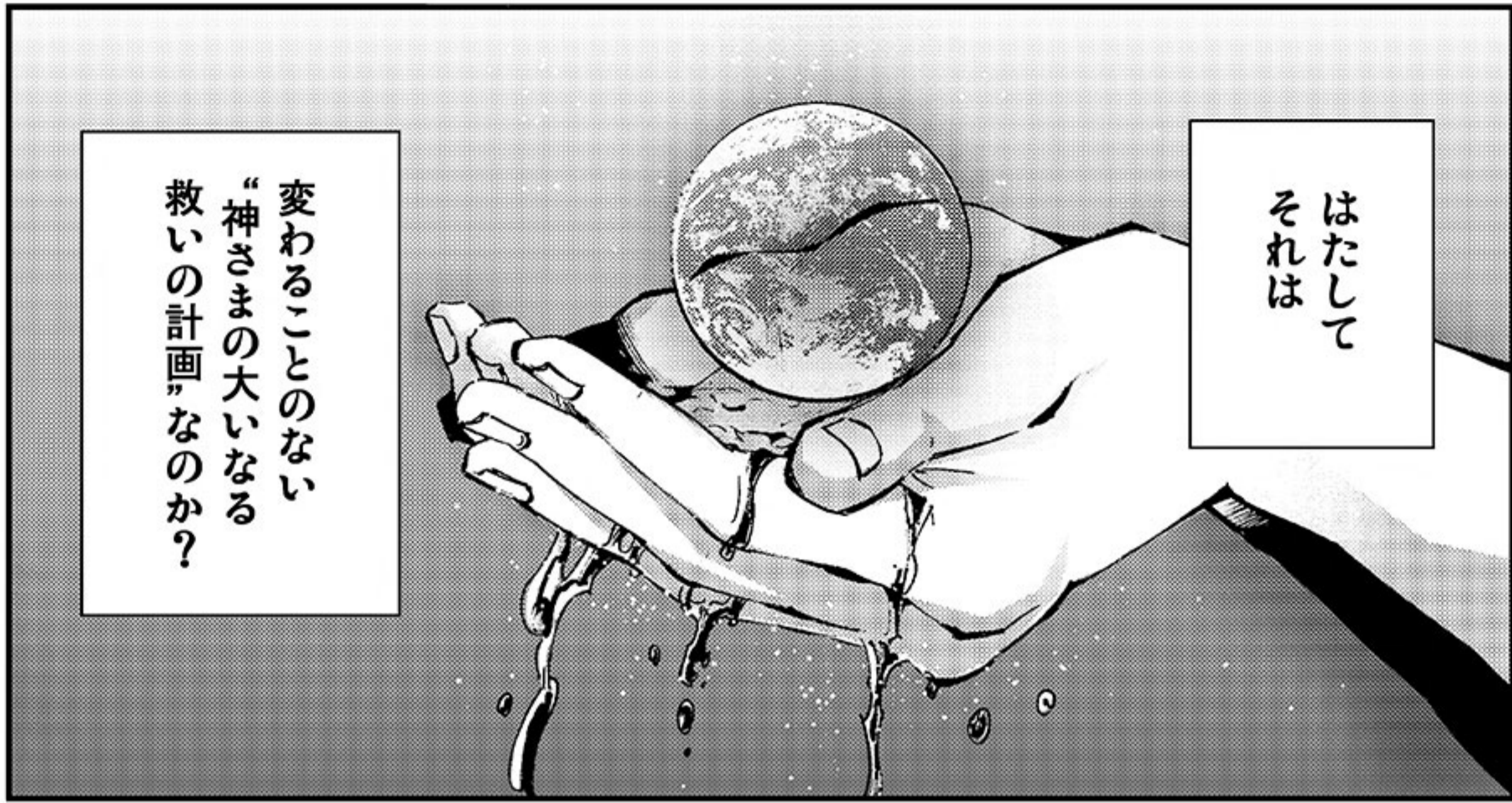


“約束の時”：
地球を再生する
ために

“約束の人”が
“約束の地”に甦る

星の暗号編

前編 ～4500年前からのメッセージ～



はたして
それは

変わることはない
“神さまの大きいなる
救いの計画”なのか？



1300年前の
“太陽の暗号”が
語ることに
同じことが

それよりも
数千年も前に
すでに暗号化
されていた

これから
お伝えするのは
4500年の
時を経て
発見され解読された…



“星の暗号”です

大司と幸之助の二人に
“太陽の暗号”の
ことを話したら
すっかり興味持って…



そうか
また二人を
連れて来るといい

今度
お父さんの
話が聞きたいって



でもそれって
暗号が語ったことで
本当かどうか
わからないでしょ

私も
驚いているよ

“約束の人”が甦るといいう
“神さまの救いの計画”が
あったとはね...

それにしても
“約束の時”には
地球を再生するために
必ず“約束の地”に



前にも言ったら
“太陽の暗号”の他にも
“星の暗号”があると...

4500年も
前から!?



それは
わからない
しかし同じことが
4500年も前に
暗号化されていたんだ



それは日本と
エジプトとメキシコを
舞台に仕掛けられて
いるんだ



“太陽の暗号”を
説明した時にも
言ったが

“岩に刻まれた絵文字”
が発見されたことは
説明したよね



大掛かりな
暗号だね
それにしても…

交通や通信手段のない
そんな古代に日本と
エジプトとメキシコには
交流があったの？



古代には世界は
一つの言葉と宗教で
結ばれていた時代が
あったことを示して
いたものだよ

そう…
“星の暗号”は

私たちの想像を
はるかに超えた
常識では考えられない
代物なんだ

どういう事？





エジプトの
ギザのピラミッドは
知っているだろ？

もちろんだよ
世界遺産の中でも
最も有名なんだし

でも…

そのピラミッドは
“暗号装置”という
ことは初耳だろ？



どういふこと？

順を追って
説明しようか

随分前になるが
グラハム・ハンコック
という作家の
『神々の指紋』という
本がベストセラーに
なったんだが



題名だけ
聞いたこと
あるけど…

その本には
二つの時が
記されていた

エジプトの
三大ピラミッドに
刻まれた
“紀元前10450年”と

マヤカレンダーに
“終わりの時”として
刻まれた
“2012年”だ



2012年は伝説の
洪水からはじまった…
一つの大きな時代の
“終わりの時”という意味だ

なるほど…



“終わりの時”?

前にも説明したが
地球は一定のサイクルで
“崩壊と再生”を繰り返して
いるという考えがあり…



『神々の指紋』に
よると
三大ピラミッドは

紀元前10450年の
オリオン座のベルトの
三ツ星を再現したもの
だというんだ



じゃあもう一つの
三大ピラミッドに刻まれた
紀元前10450年は
ノアの大洪水後の
“始まりの時”を示しているの?

そう
解釈されている



どうして
それが発見
できたの?

これが発見したのは
グラハム・ハンコックとも
共著をだされている
ロバート・ボーヴァル
という方なんだが

彼は三大ピラミッドを
真上から撮った写真を
見ていたんだ

その時…

エジプトの古文書などに
語られる
『上に在るごとく、下も在れ』
という言葉を思い出し

“三大ピラミッドとナイル川”は
“オリオン座の三ツ星と銀河の天の川”を
再現したものだと閃いたんだ

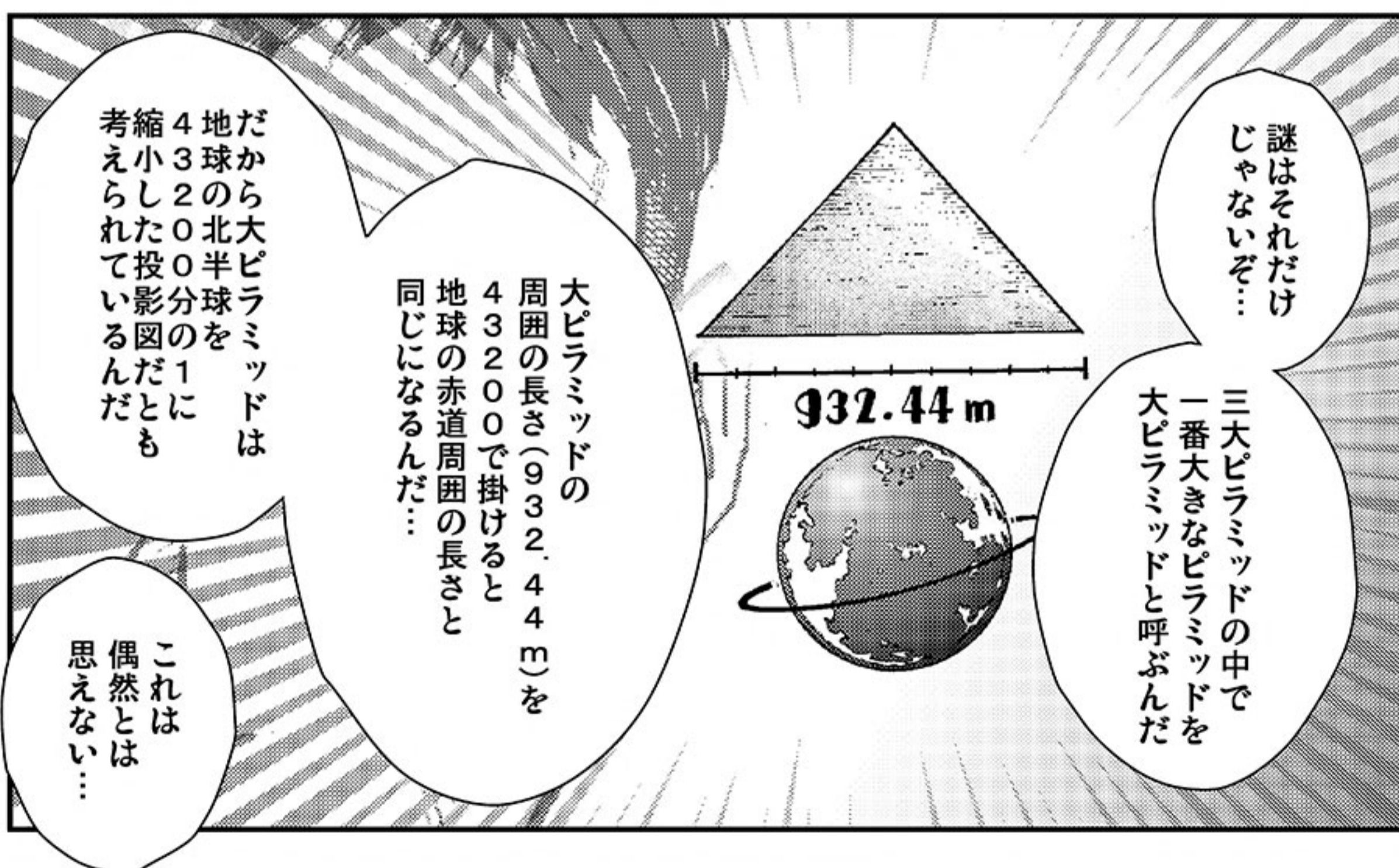
ほんとだ！
紀元前10450年の
オリオン座の三ツ星と
三大ピラミッドが
対応してる！

でもそんな昔の
星の位置をその人は
どうやって調べられたの？

私も持っているが
場所と時を決めれば
その時の天体を
調べられるソフトが
あるんだ

例えば場所を
エジプトの首都カイロに
年を紀元前10450年に
設定すればその様子が
出てくるんだ

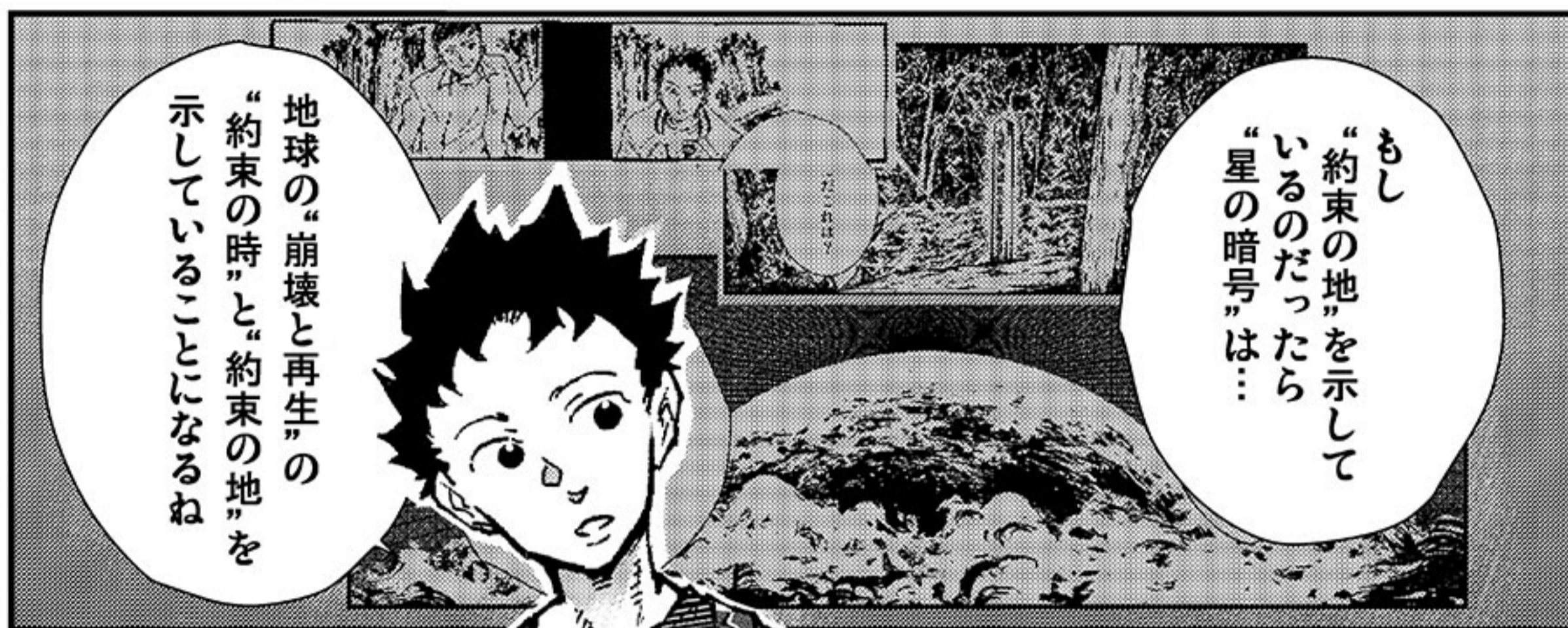
へえー
それは便利だね





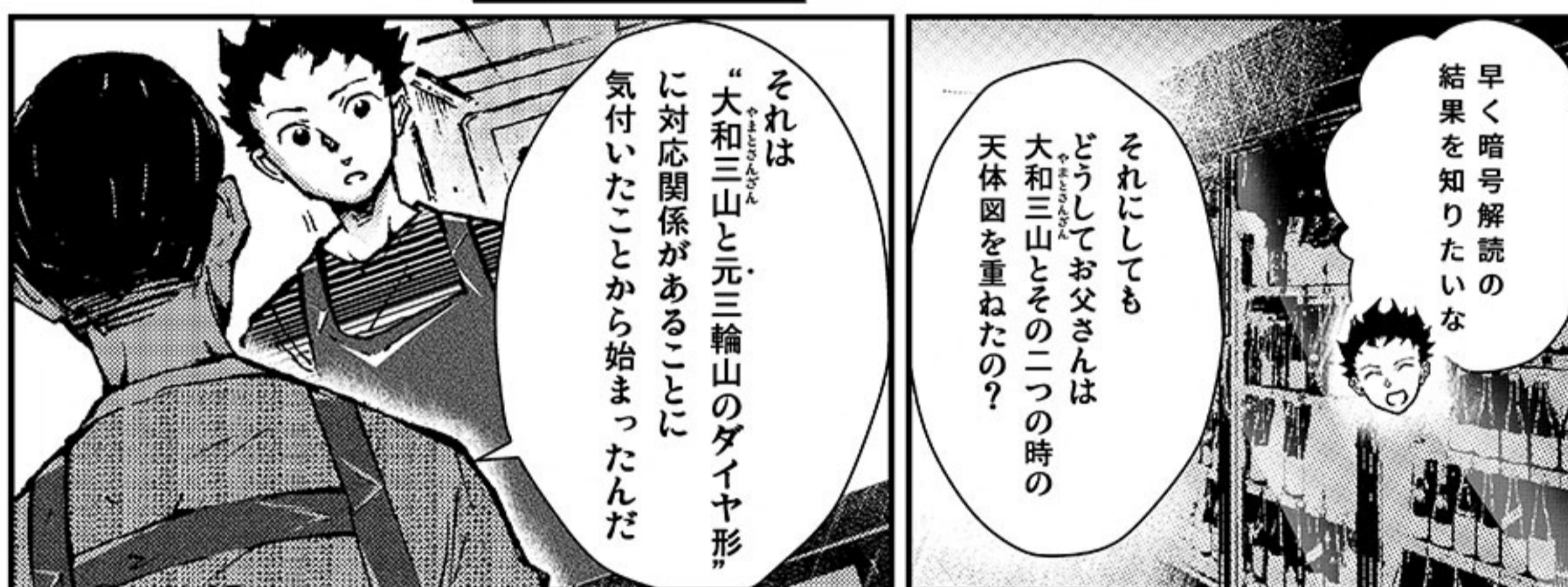






もし
“約束の地”を示して
いるのだったら
“星の暗号”は...

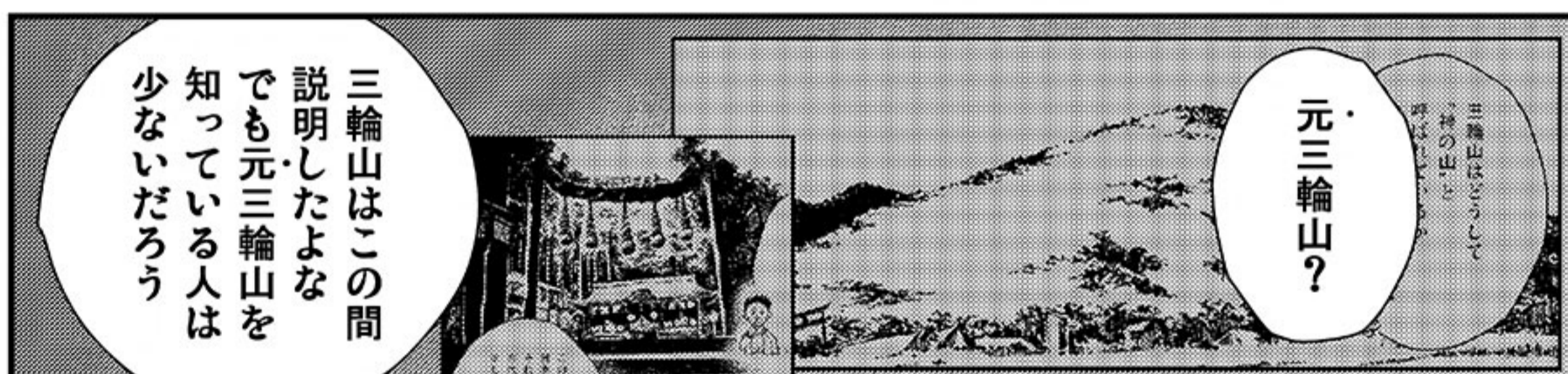
地球の“崩壊と再生”の
“約束の時”と“約束の地”を
示していることになるね



早く暗号解読の
結果を知りたいな

それにしても
どうしてお父さんは
大和三山とその二つの時の
天体図を重ねたの？

それは
“大和三山と元三輪山のダイヤ形”
に対応関係があることに
気付いたことから始まったんだ



元三輪山？

三輪山はかつて
“神の山”
と呼ばれていた

三輪山はこの間
説明したよな
でも元三輪山を
知っている人は
少ないだろう



まず大和三山から
説明しよう

奈良県にある
奈良盆地南部に
そびえる三体の
山々なんだが...

その姿から
ピラミッドではないかと
言われているんだ

私が以前
三輪山を登った時に
見た大和三山は...



平野の中に
その三山だけが
際立って見え…

その姿はまさに
ピラミッドだったよ



日本にも
ピラミッドが
あるなんて

日本には他にも
ピラミッドとされる
山があるんだぞ

秋田県にある
黒又山くろまたという山だ
自然の山を加工して
いるのだが
長年の学術調査の結果
ピラミッドということが
証明されているんだ



やっぱり
お父さんの話は

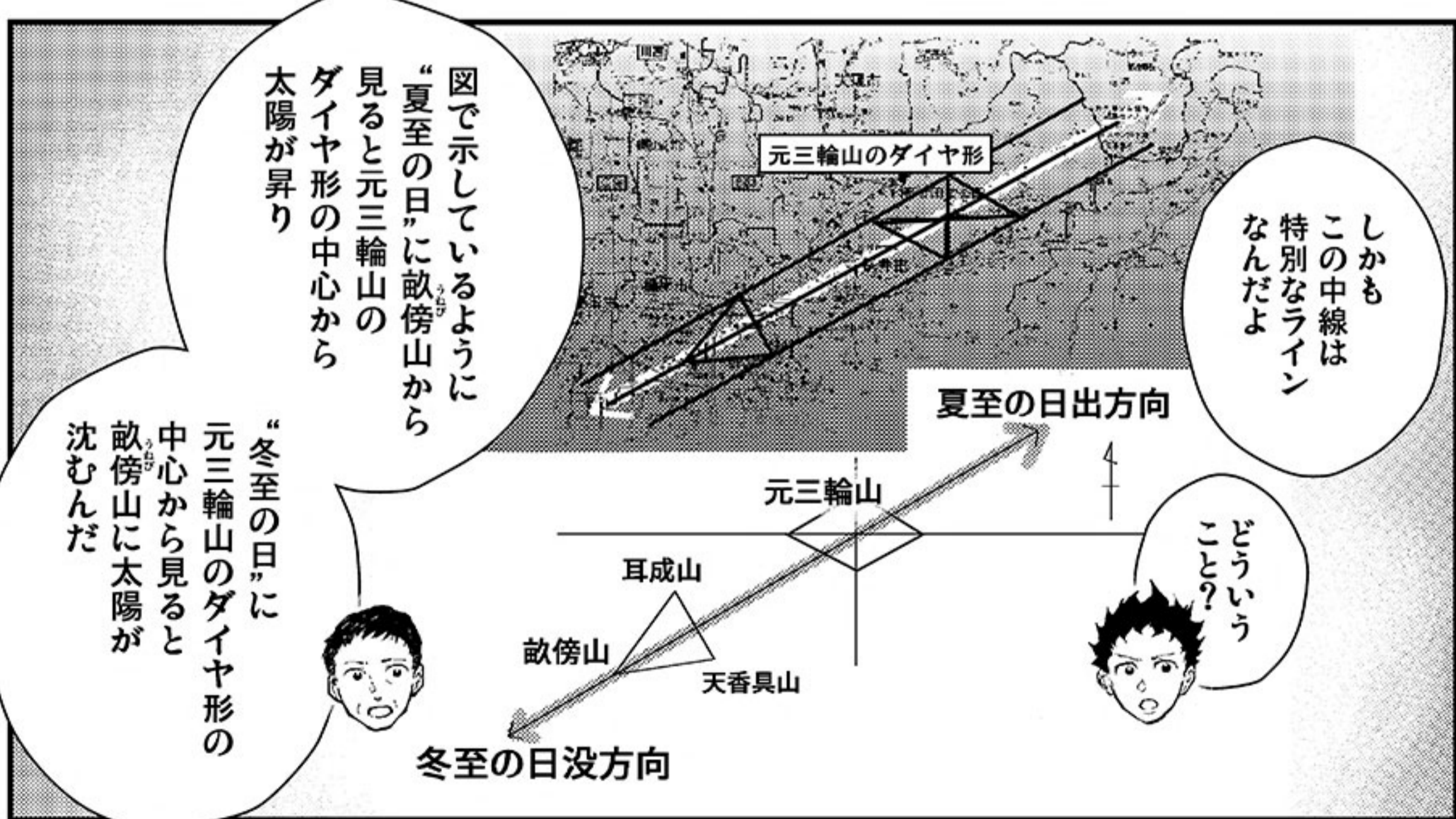
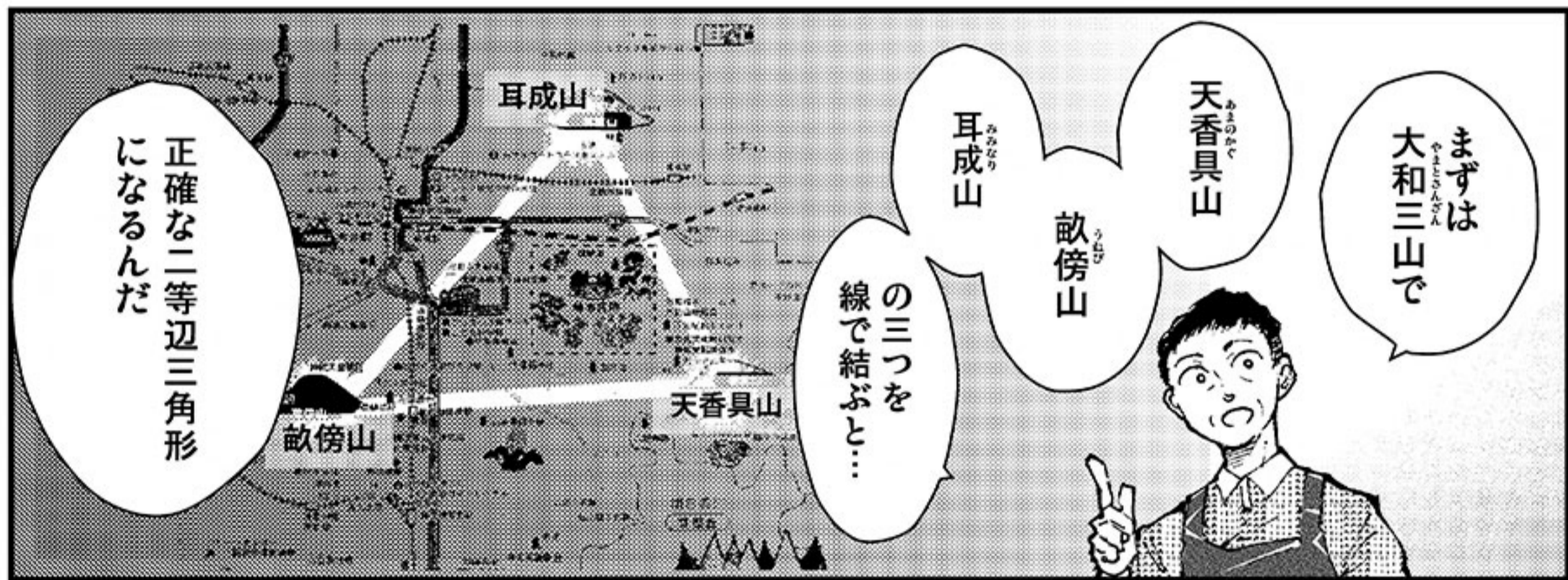
常識的な知識で
固めた固定概念を
外して聞かないと
ついていけないや

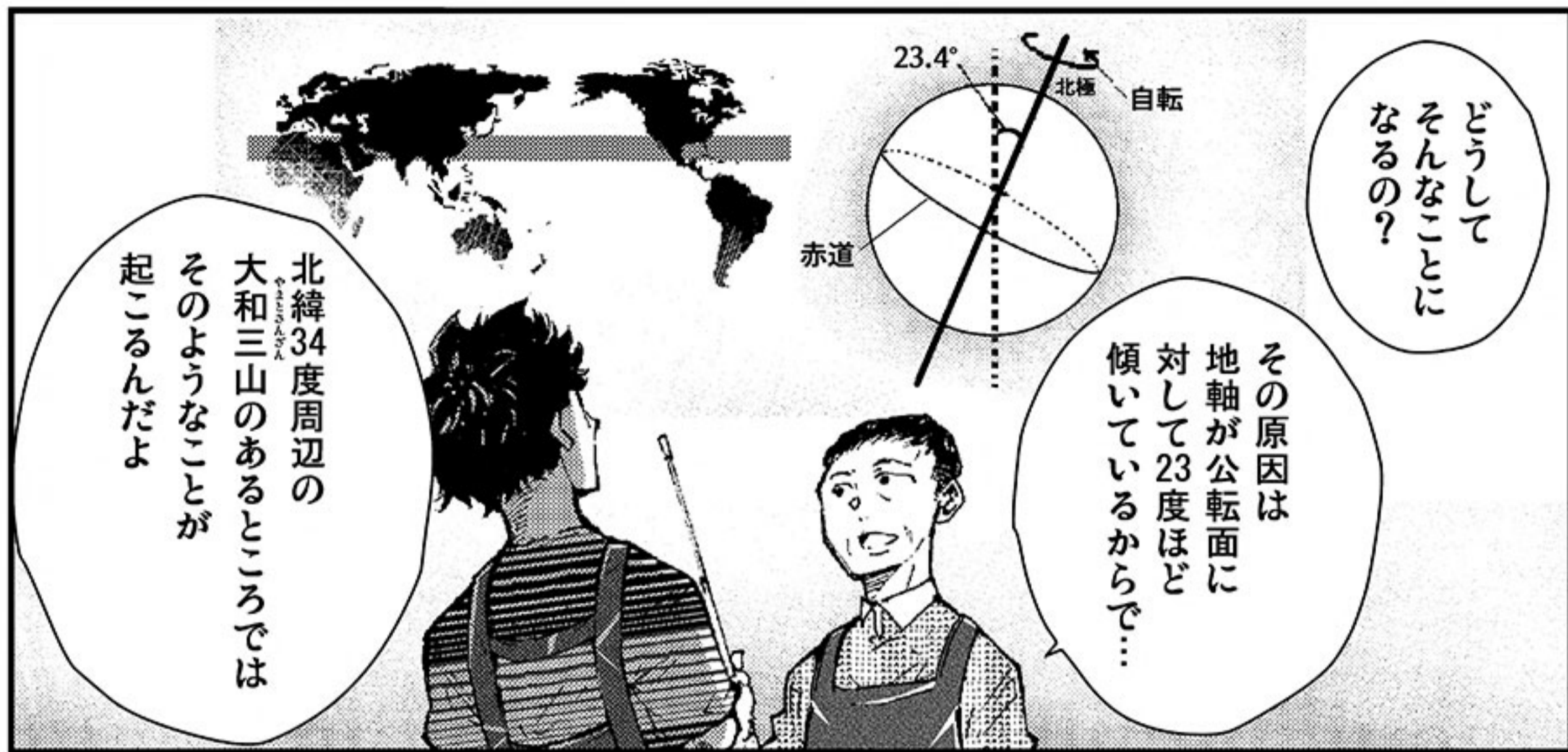


その他にも
『青森の露山』

『葦嶽山』と
日本全国で
ピラミッド山は
発見されている

『大石神ピラミッド』





どうして
そんなことに
なるの？

その原因は
地軸が公転面に
対して23度ほど
傾いているからで…

北緯34度周辺の
大和三山のあるところでは
そのようなことが
起こるんだよ



三つの山が
二等辺三角形になり
その中線も
特別なラインになるのは
偶然とは考えにくいだろ

まして日本全国に
ピラミッドが存在する
ことを考えれば…

大和三山がピラミッドだと
いう答えに行き着いたんだ



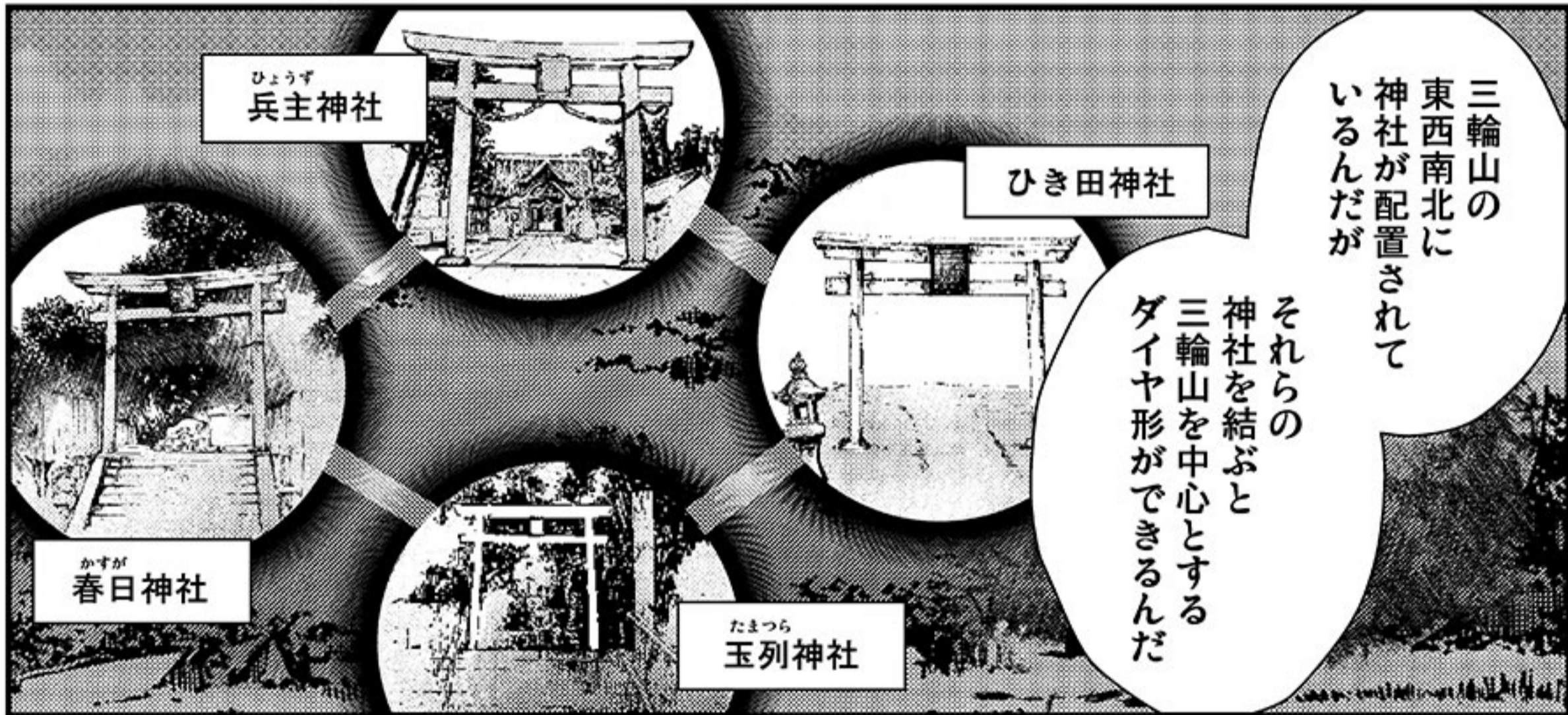
たしかに
そうだね

ところで
話は戻るけど
元三輪山って
どういう山なの？

元？

元っていう
くらいだから
三輪山のモデルに
なった山なんだ

ただ一つの
独立した山というよりは
山々と言った連山の
ほうが正しいな





そうすると
耳成山から引いたラインが
榎原神社に重なるんだ

榎原神社は
“太陽の暗号”でも
説明したが

崇神天皇の代に
皇居にお祀り
されていた
天照大神を最初に
還した場所と
される所だ



そこには
イワクラがあり
祭祀の古さを
物語っている

いずれにしても
この場所は今も
大切にお祀りされて
いるんだ

イワクラ(磐座)
古神道における岩に対する信仰
あるいは信仰の対象となる岩そのもの

一体誰が
お祀りしているの？

榎原神社は
近くの大神神社の
末社になっているから
大神神社の関係者
だろう



“星の暗号”の
重要な場所だから
暗号者と関係の
深い大神神社が

今も大切に
お祀りされて
いるんだね

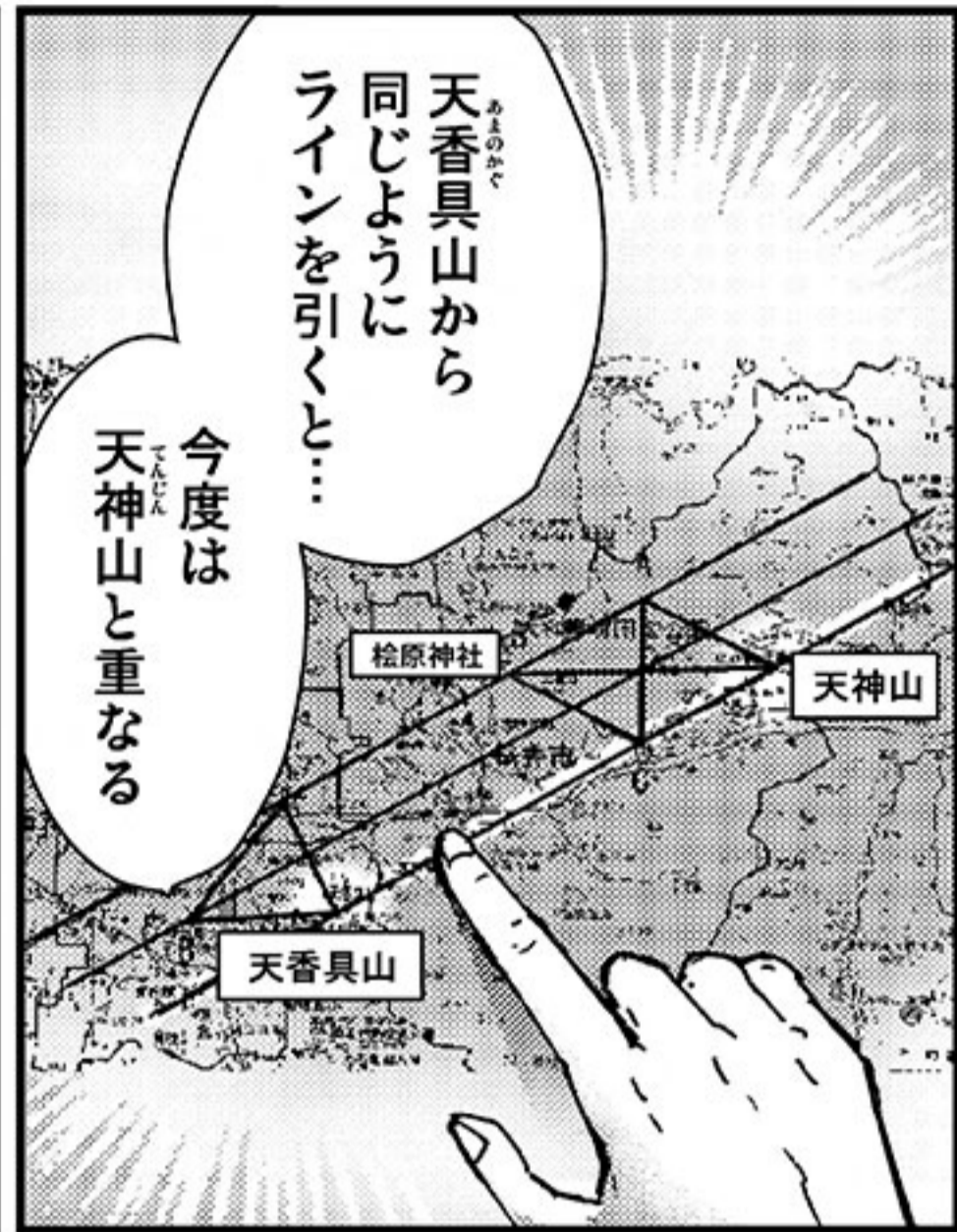
そうだと思う
それと…



この場所も
古い祭祀場
なんだね

ということは

天神山の麓には
神社があり山頂には
イワクラがあるんだ



天香具山から
同じように
ラインを引くと…

今度は
天神山と重なる

松原神社

天神山

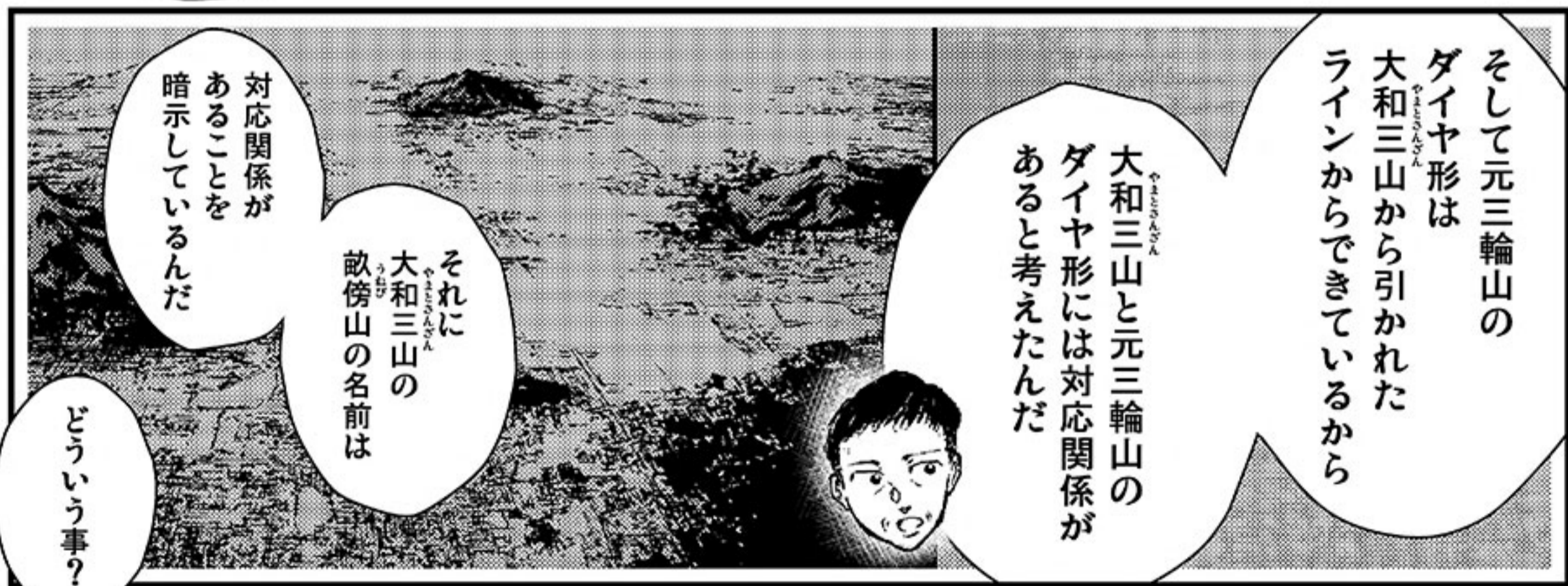
天香具山



そうすると
お父さんが
想定したダイヤ形の

左と右の場所には
どちらも神社と
イワクラが
あるんだね

そうだと
それで三輪山の
ダイヤ形と同じように
元三輪山のダイヤ形を
作ったんだ



そして元三輪山の
ダイヤ形は
大和三山から引かれた
ラインからできているから

大和三山と元三輪山の
ダイヤ形には対応関係が
あると考えたんだ

それに
大和三山の
畝傍山の名前は

対応関係が
あることを
暗示しているんだ

どういう事？



畝傍山の『畝』は
山脈などの
小高く連なった
ところを意味する

そして『傍』には
傍流という言葉が
あるように

本流から別れた流れや
系統を意味する…
だから畝傍山は小高く
連なったところを
本流とする別れの山
という意味になる





星の暗号編

後編 ～未来の子どもたちのために～



“大和三山と元三輪山のダイヤ形を天体図と重ねることに対応関係の意味がわかると考えたんだ”

三大ピラミッドが天体図と対応してたっていう…

それで私は“神々の指紋”に書かれていたことを思い出したんだ

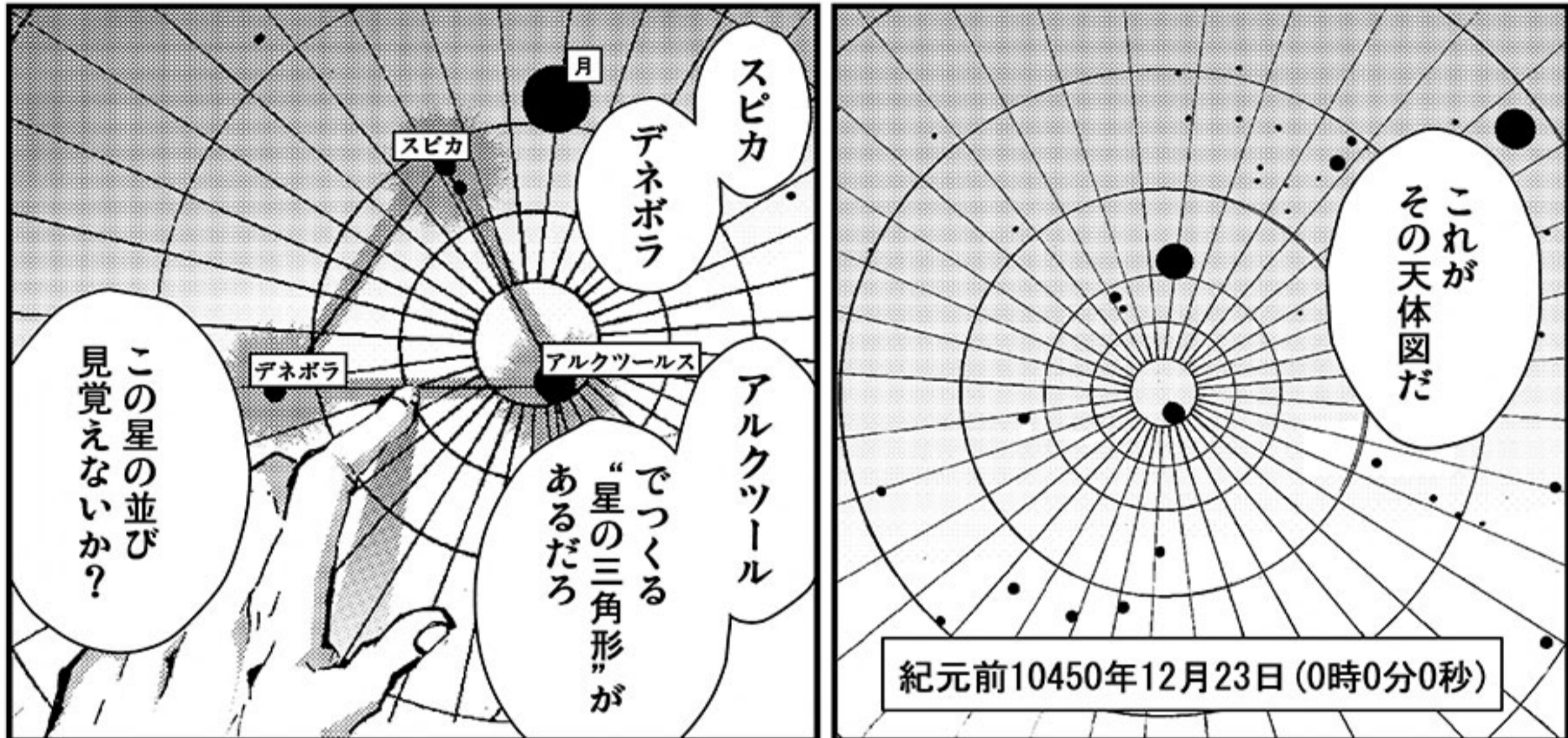


そこで対応させようと思った天体図の場所を

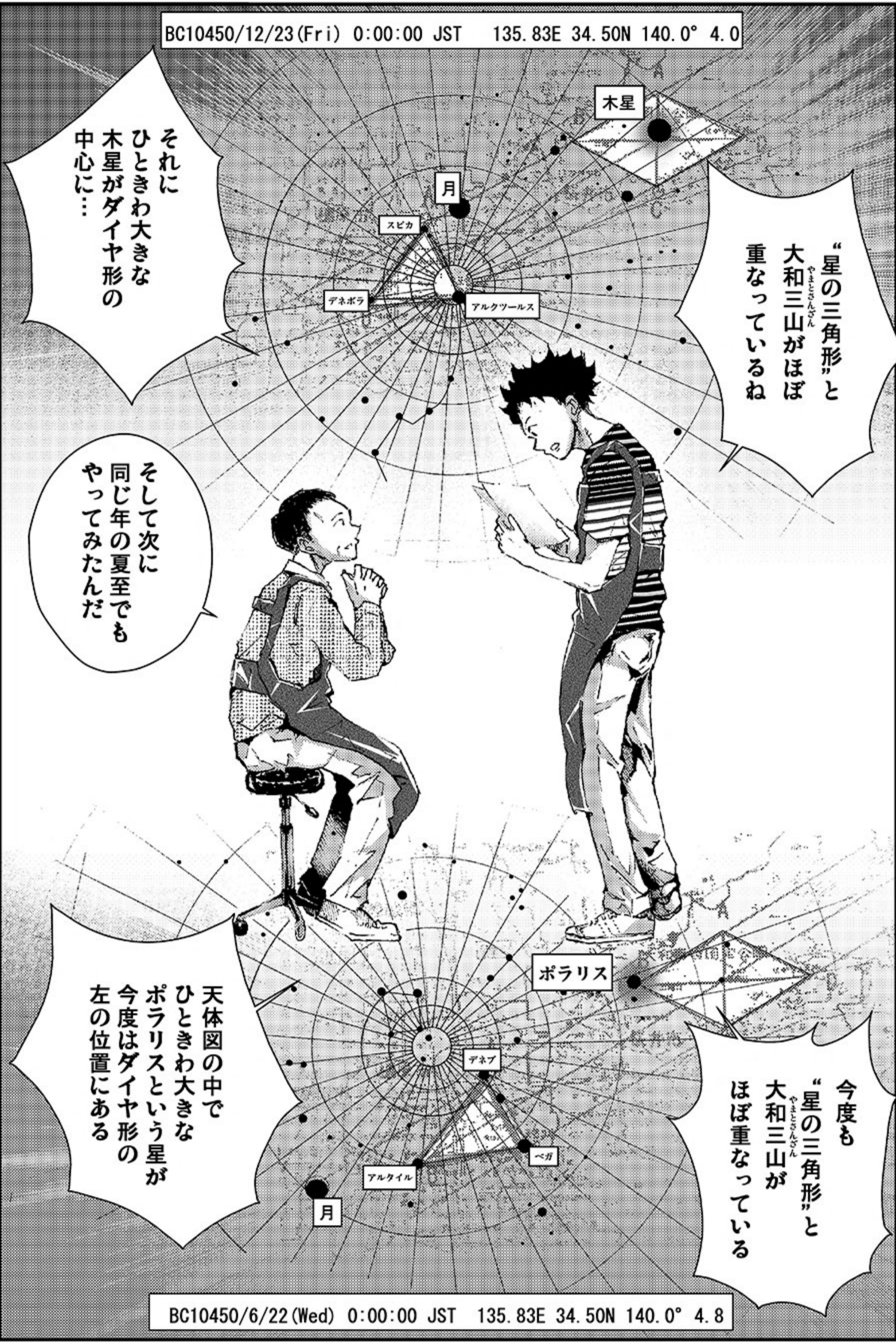
大和三山のある奈良県桜井市に

時間を

“始まりの時”と“終わりの時”を選んだんだ



BC10450/12/23(Fri) 0:00:00 JST 135.83E 34.50N 140.0° 4.0



それに
ひととき大きな
木星がダイヤ形の
中心に...

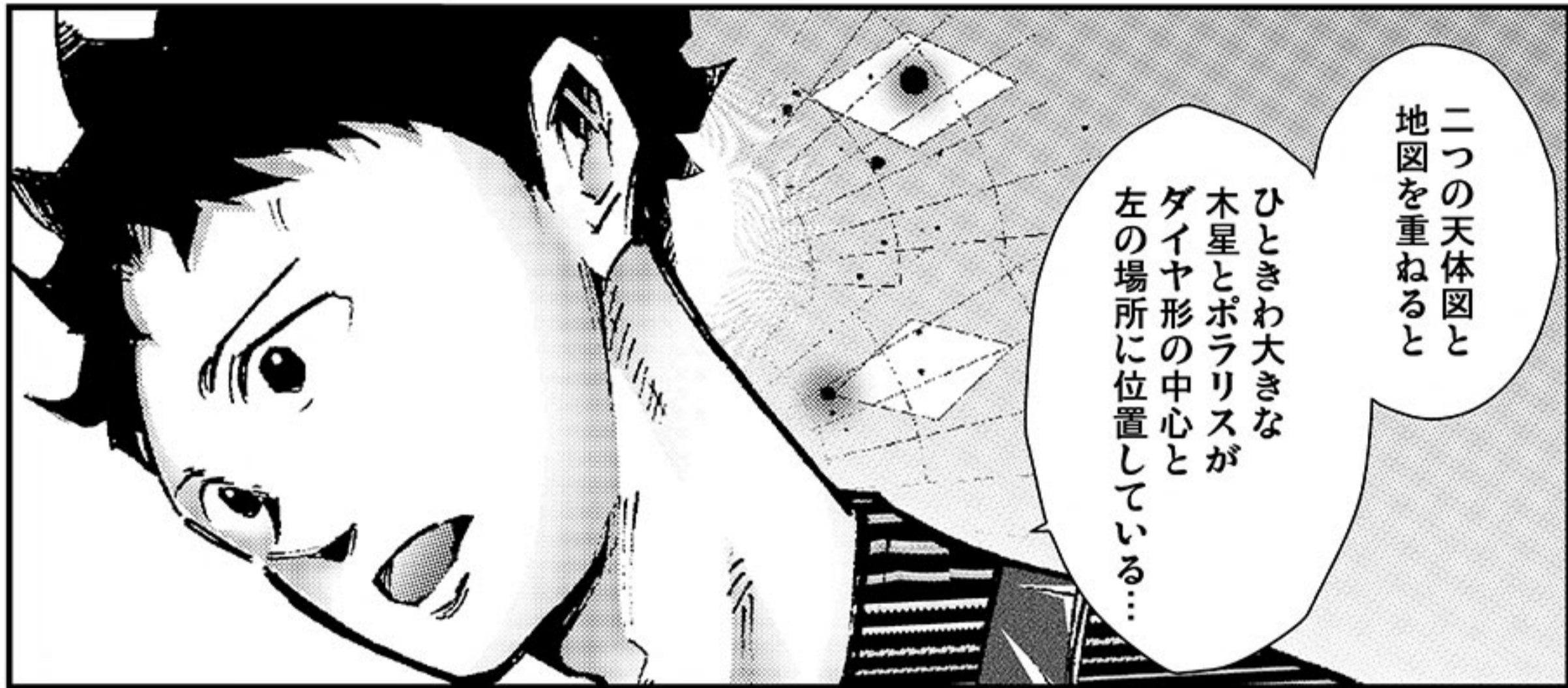
“星の三角形”と
大和三山がほぼ
重なっているね

そして次に
同じ年の夏至でも
やってみたんだ

天体図の中で
ひととき大きな
ポラリスという星が
今度はダイヤ形の
左の位置にある

今度も
“星の三角形”と
大和三山が
ほぼ重なっている

BC10450/6/22(Wed) 0:00:00 JST 135.83E 34.50N 140.0° 4.8



二つの天体図と
地図を重ねると

ひとときわ大きな
木星とポラリスが
ダイヤ形の中心と
左の場所に位置している…

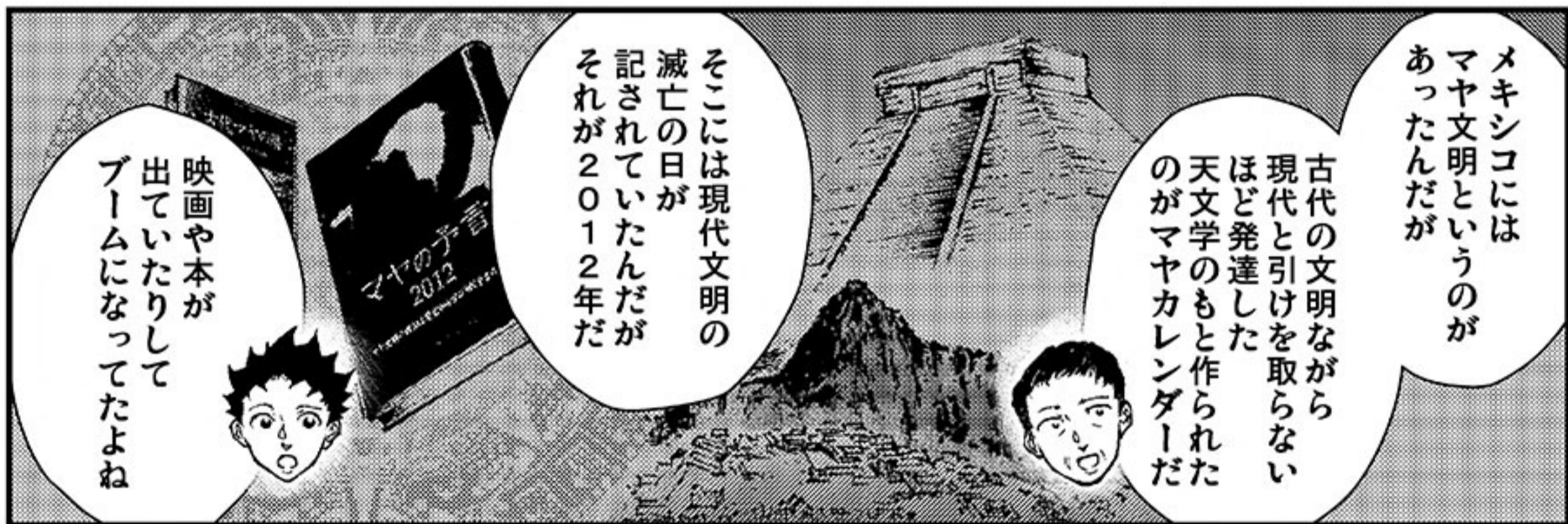


これは偶然じゃない
と思っただ

そこで
“終わりの時”も
見てみたんだ

そういえば
2012年って
マヤカレンダーに
示されたものだよ

マヤカレンダーって
どういうもの
だったの？



メキシコには
マヤ文明というの
があったんだ

古代の文明ながら
現代と引けを取らない
ほど発達した
天文学のもと作られた
のがマヤカレンダーだ

そこには現代文明の
滅亡の日が
記されていたんだが
それが2012年だ

映画や本が
出ていたりして
ブームになってたよ



もう過ぎたが
その年が“終わりの年”と
されていたが

“星の暗号”を
発見したことで
この2012年は
“始まりの時”と同じで

“終わりの年”ではなく
“終わりの時”を
象徴していることが
わかったんだ…

さあ話を戻そう
“終わりの時”の天体図も
見てみようか

AD 2012/12/23 (Sun) 0:00:00 JST 135.83E 34.50N 140.0° 3.6

また「星の三角形」と
大和三山が
ほとんど重なっている！

冬至の日は
ひととき目立つ
ポラリスがダイヤ形の
中心に位置しているな

ちょっと待って!!
これって「始まりの時」の
ケースと同じ対応じゃないか!?

夏至の日は
同じポラリスが
ダイヤ形の左に
位置している…

ちなみに詳しく関係を
表にしたのがこれだ

AD 2012/ 6/22 (Fri) 0:00:00 JST 135.83E 34.50N 140.0° 4.4

天体図と『大和三山と古代祭祀』の対応関係

AC2012年

| | 6月22日 0時 0分 0秒 | 12月23日 0時 0分 0秒 |
|-----------------------------|-----------------|--------------------|
| 耳成山 | デネブ 白鳥座 夏の三角形 | プロキオン こいぬ座 冬の三角形 |
| 畝傍山 | アルタイル わし座 夏の三角形 | シリウス おおいぬ座 冬の三角形 |
| 天香久山 | ベガ こと座 夏の三角形 | ベテルギウス オリオン座 冬の三角形 |
| ダイヤ形左 松原神社 B地点 | ポラリス | |
| ダイヤ形 中央 ダンナダイラ E地点 | | ポラリス |

BC10450年

| | 6月22日 0時 0分 0秒 | 12月23日 0時 0分 0秒 |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|
| 耳成山 | デネブ 白鳥座 夏の三角形 | スピカ おとめ座 春の三角形 |
| 畝傍山 | アルタイル わし座 夏の三角形 | デネボラ しし座 春の三角形 |
| 天香久山 | ベガ こと座 夏の三角形 | アルク ツールズ 春の三角形 |
| ダイヤ形左 松原神社 B地点 | ポラリス | |
| ダイヤ形 中央 ダンナダイラ E地点 | | 木星 |



これらの
対応関係が
偶然だと思うか？

話が出来過ぎてるよ

エジプトの
三大ピラミッドに刻まれた
“10450年”は
“始まりの時”を象徴し
マヤカレンダーに刻まれた
“2012年”は
“終わりの時”を象徴していた



それに大和^{やまと}三山^{さんざん}の
中線は夏至と冬至を
示す特別なラインとなる…

それで
お父さんは大和^{やまと}三山^{さんざん}と
元三輪山のダイヤ形を
“10450年”と“2012年”の
夏至と冬至の天体図に
対応させたわけでしょ

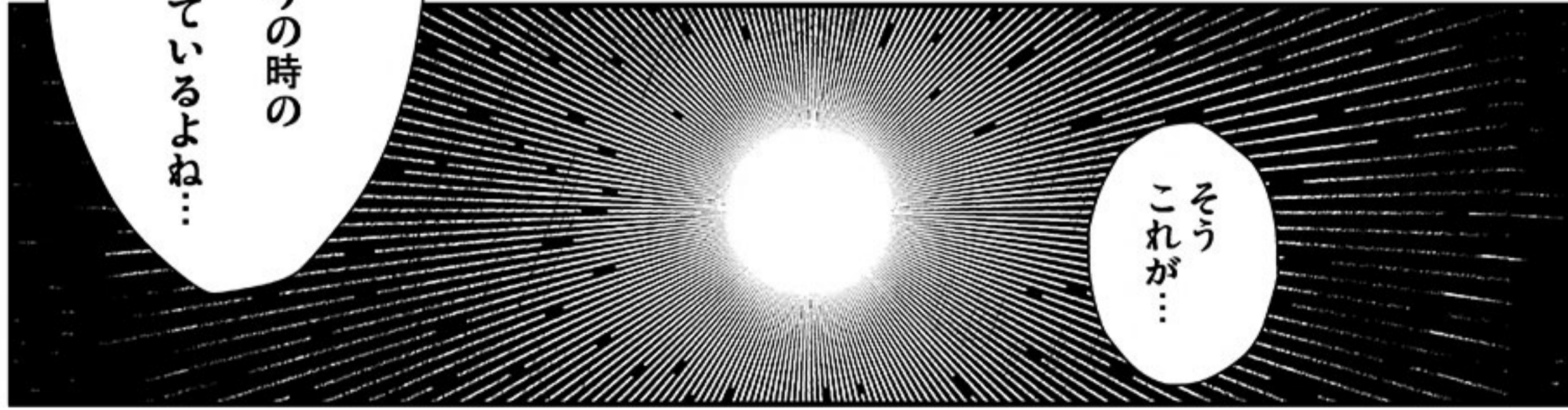


そうだ
その結果

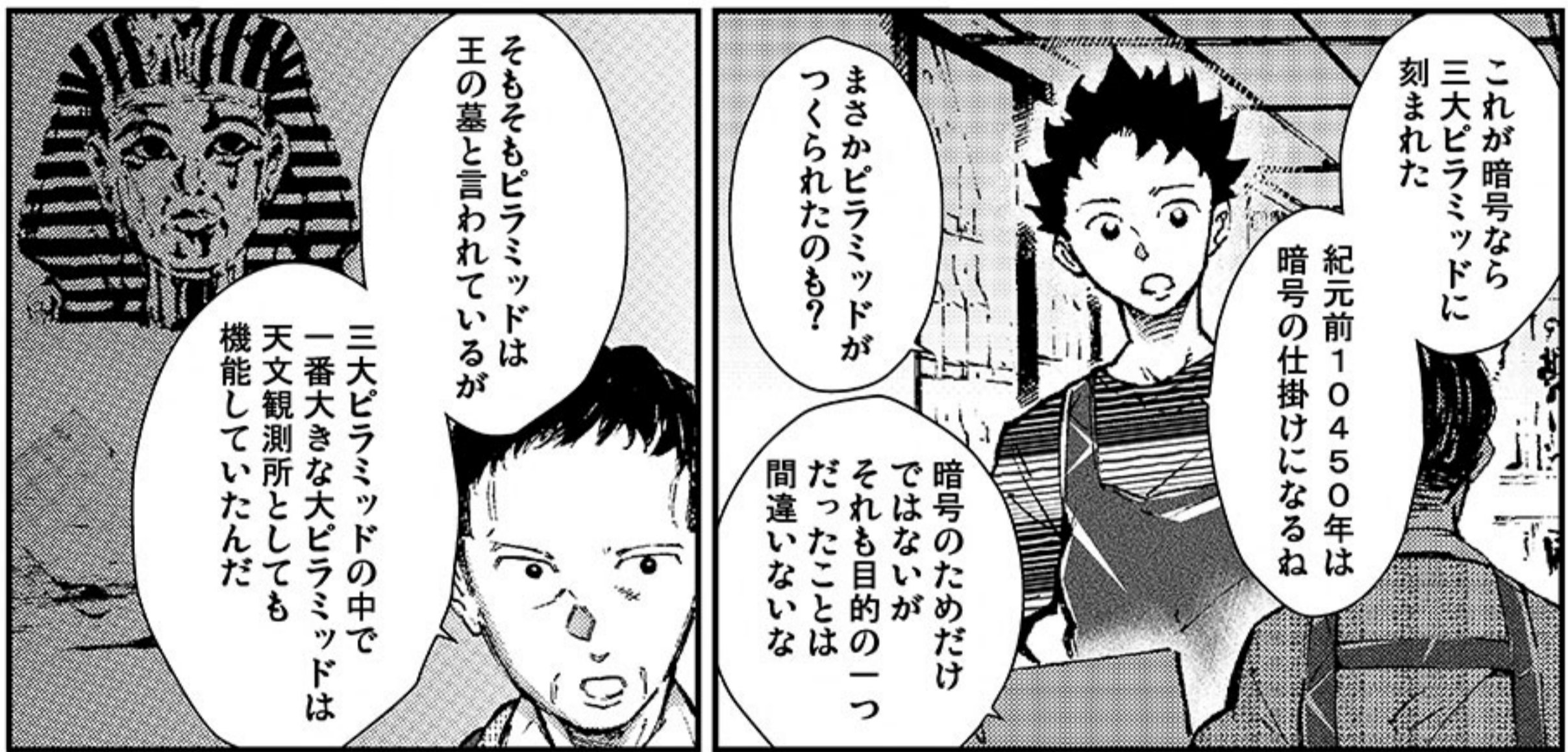
さっきの
二つの場所が
浮かび上がって
きたんだよ

この対応関係は
明らかに

“始まりの時と終わりの時の
二つの時”と
“二つの場所”を示しているよね…



そう
これが…





でも三大ピラミッドに
刻まれた
紀元前10450年が
暗号の仕掛けという
証拠はあるの？

もちろん



詳しいことは
私の本に書いてあるから
読み直してみなさい

なんだか
宣伝みたいだな



ポラリスと木星の
位置関係だよ

さっきの
対応表にも
書いてあるが…

ポラリスは
二つの時でダイヤ形の
真ん中や左と位置していた

このポラリスは
地球から遠く離れた
恒星で何百年何千年と
同じ位置に留まるんだ



紀元前10450年と
2012年だけじゃなく
かなり長い期間
同じ対応関係だといえる



ちなみに
ポラリスは
“北極星”のことだ

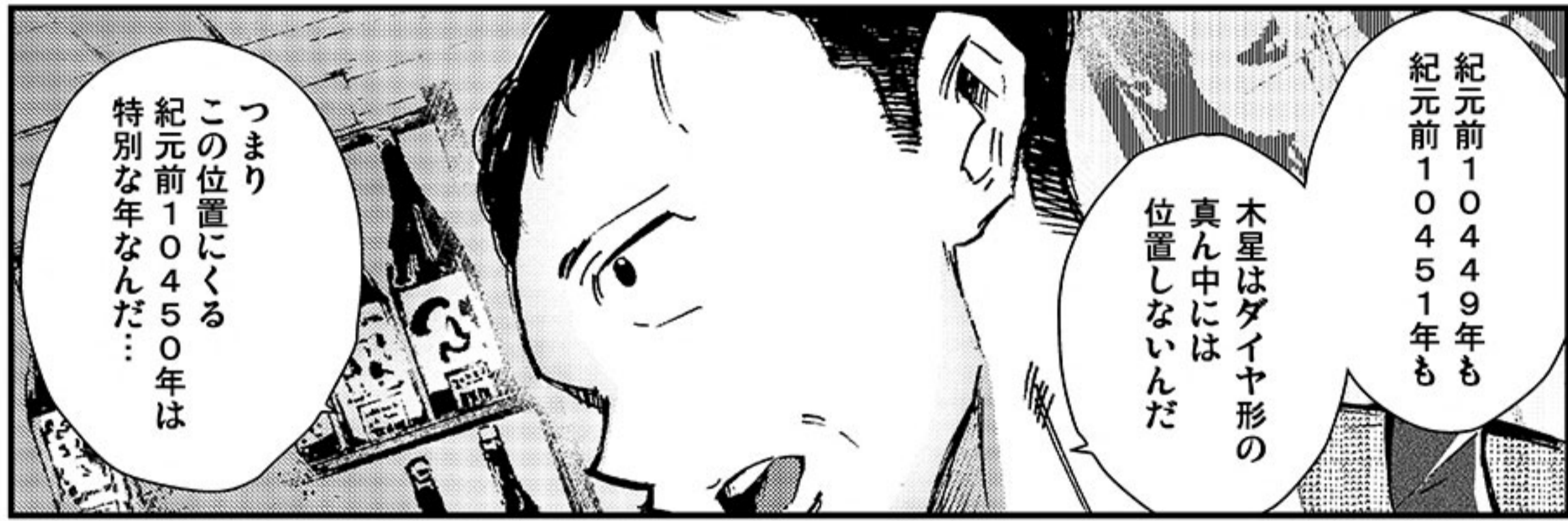
そうなんだ



でも紀元前10450年の冬至にダイヤ形の真ん中に位置するのは木星だよな？

木星は地球と同じように太陽の周りを公転する惑星で

毎年その位置を変えるだろ



紀元前10449年も紀元前10451年も

木星はダイヤ形の真ん中には位置しないんだ

つまりこの位置にくる紀元前10450年は特別な年なんだ...



暗号者はこの特別な年を何かに刻んで残さなければ暗号を見つけないと考えたということ？

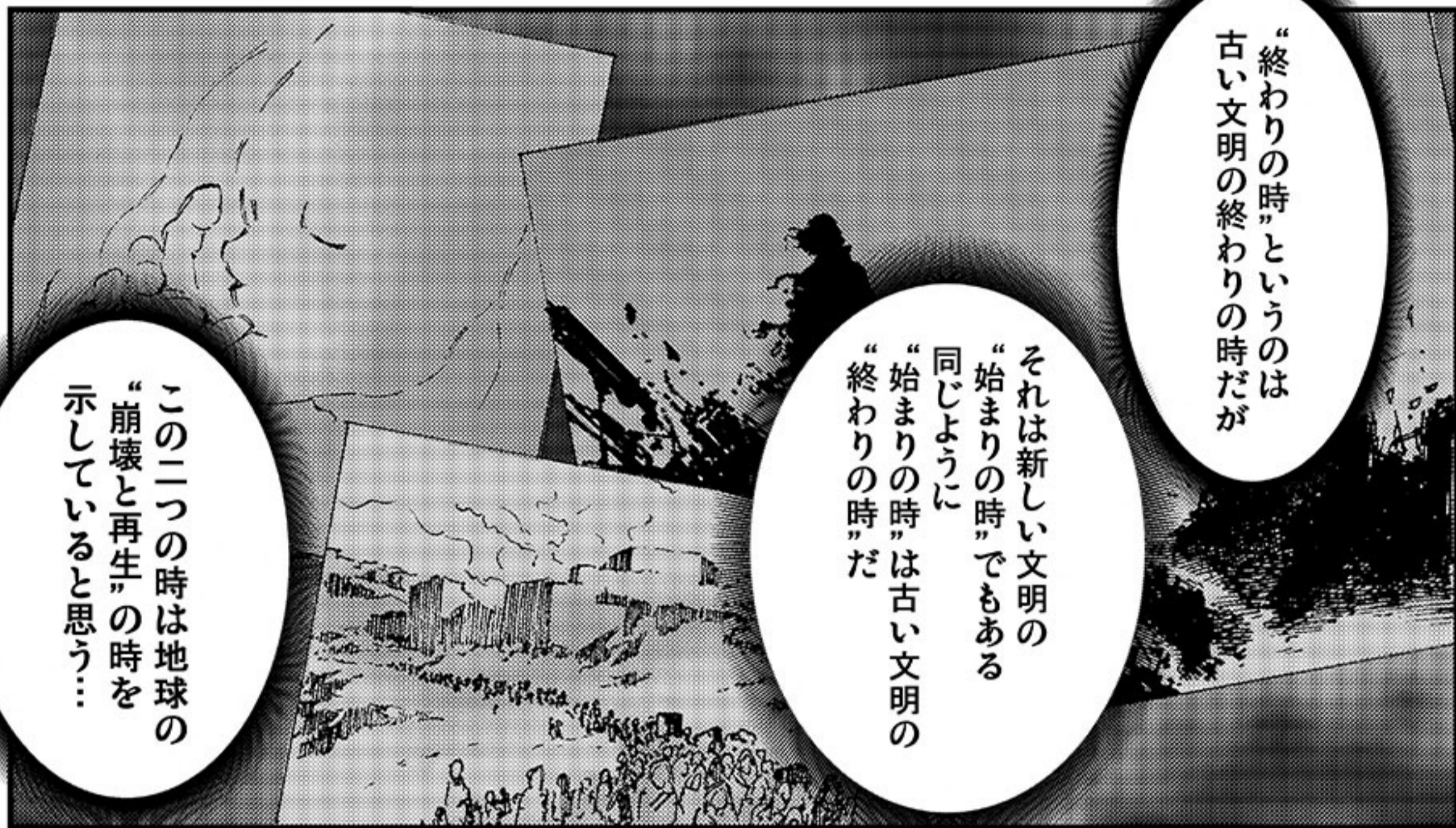
そうだから紀元前10450年のオリオン座のベルトの三ツ星を設計図に

三大ピラミッドを設計したと思っている

三大ピラミッドが“星の暗号”の暗号装置というのはそういう意味だったんだね

それじゃー何らかのメッセージが込められているはずだね

そう...二つの時から考えよう



“終わりの時”というのは
古い文明の終わりの時だが

それは新しい文明の
“始まりの時”でもある
同じように
“始まりの時”は古い文明の
“終わりの時”だ

この二つの時は地球の
“崩壊と再生”の時を
示していると思う…



じゃあ
二つの場所は
何を示しているの？

二つの時は地球の
“崩壊と再生”の
一つの時を
示しているの

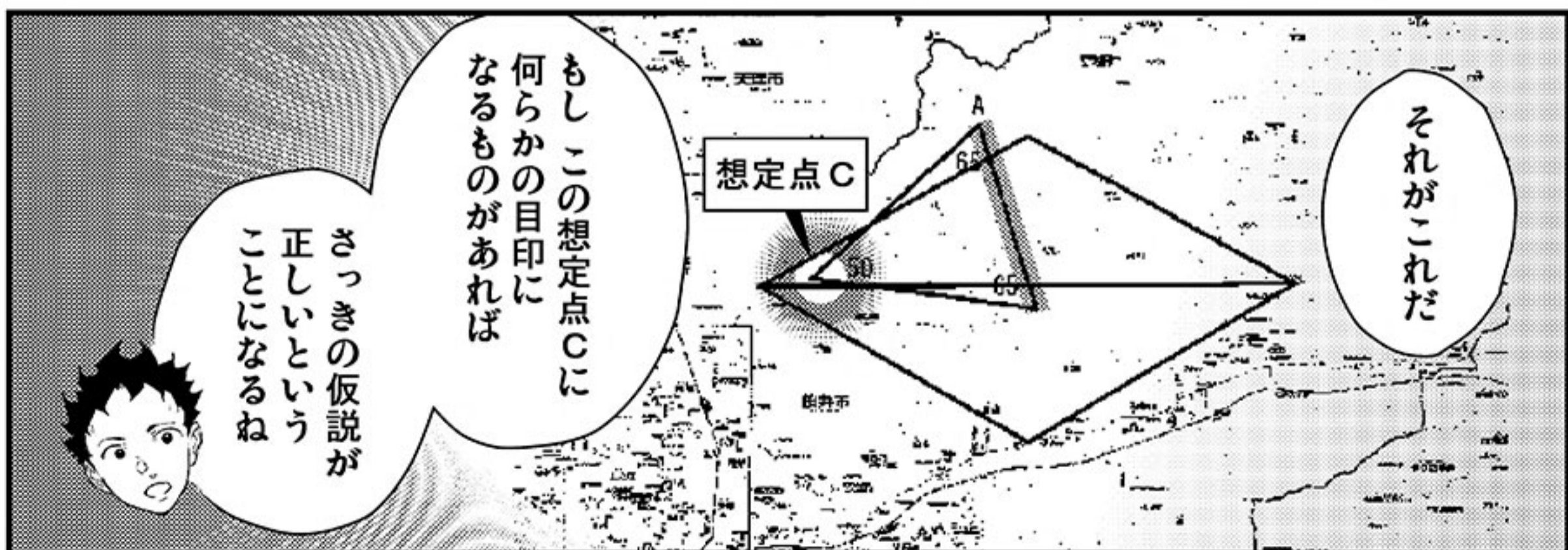
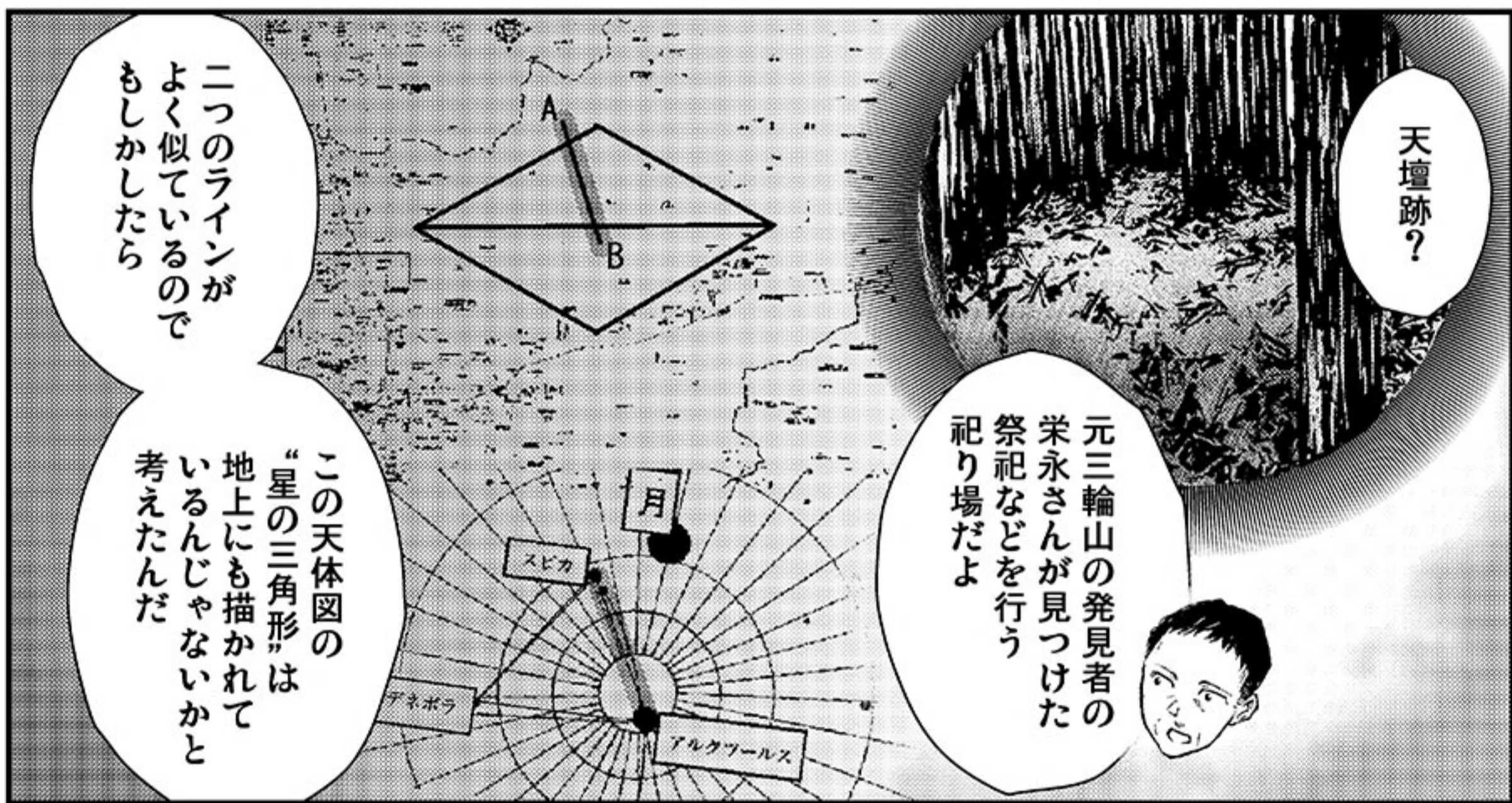
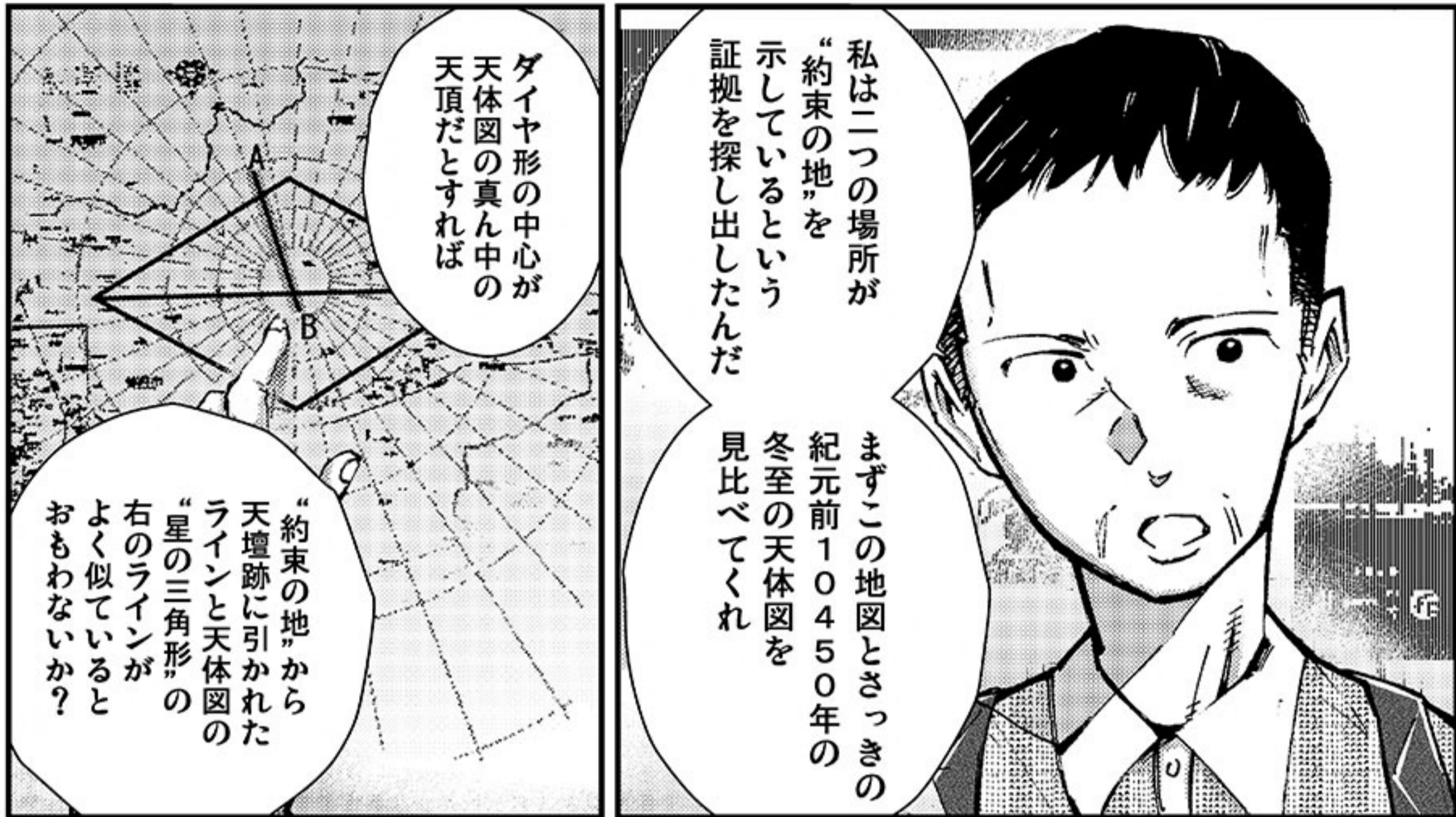
二つの場所も
一つの場所を
示していると
考えたんだ

それって
もしかして…



もう言わなくても
わかるよな

“約束の地”だ





無数のイワクラが
この場所だけに
あったんだ



もちろん
探したよ

すると
この場所とほとんど
同じ場所に…



ほんとだ
見事だね

で結局
さっきの四枚の天体図の
四つの“星の三角形”と
同じ三角形が地上にも
描かれていたんだよ

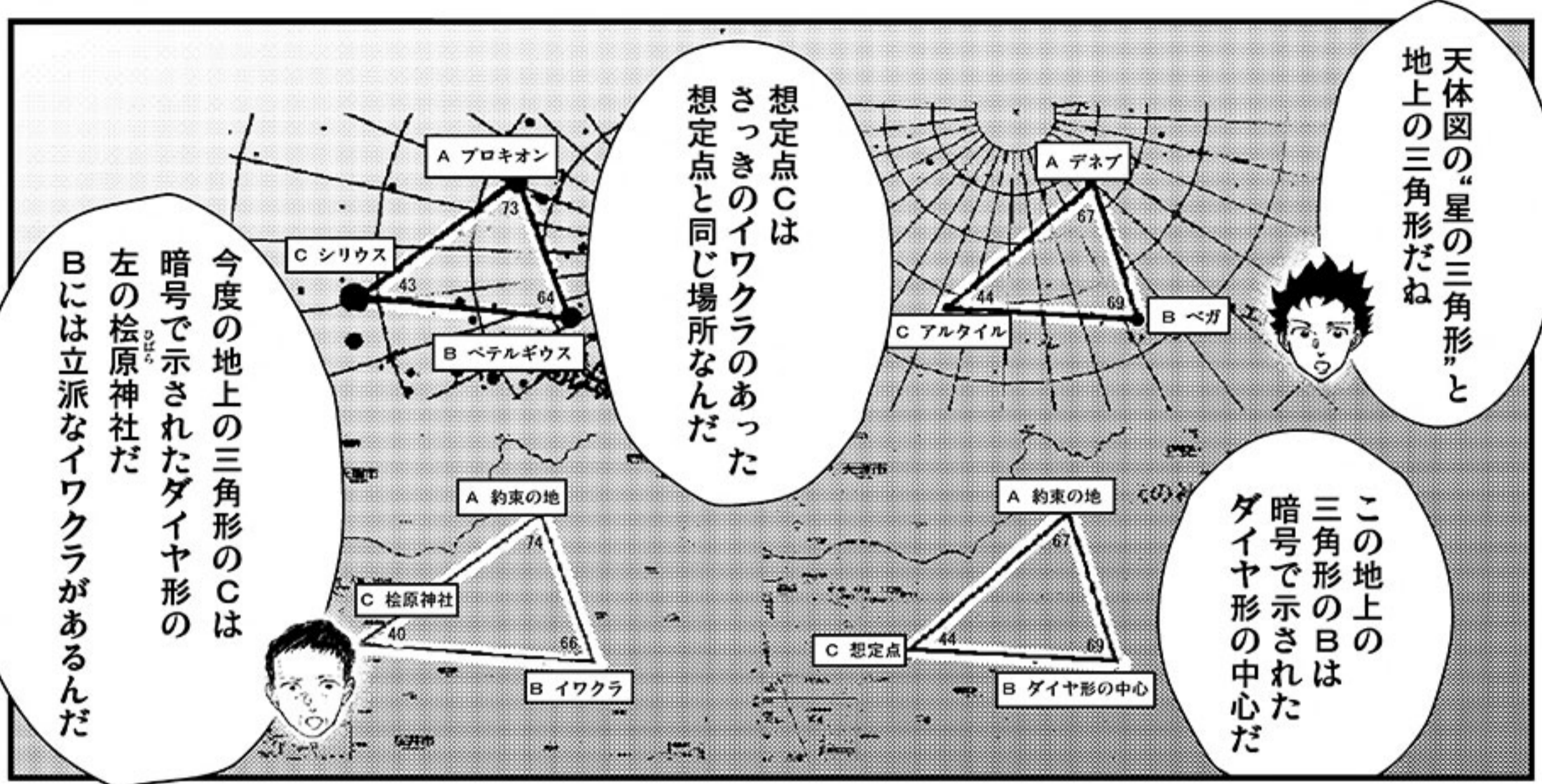


それで
その地上に描かれた
“星の三角形”と
二つの場所には
何か関係があるの？

次にこれを
見てごらん



ようするに
“星の暗号”で使用された
天体図の“星の三角形”が
地上にも再現されて
いるんだ





最初の地上の三角形の
想定点Cに天体図の
“星の三角形”のアルタイル

そして暗号で
示された
ダイヤ形の中心に
“星の三角形”のベガを
合わせると…

二つ目の地上の三角形の
Cの榎原神社も暗号で
示されていたけど
そこにシリウスを…
伊ワクラには
ペテルギウスを合わせると

なるほど
暗号で示された
“二つの場所”と

伊ワクラの目印で隠された
“約束の地”を見つけることが
できるんだね

隠された
“約束の地”が
わかる!

そう
二つの場所は
“約束の地”を
示していること
なる…



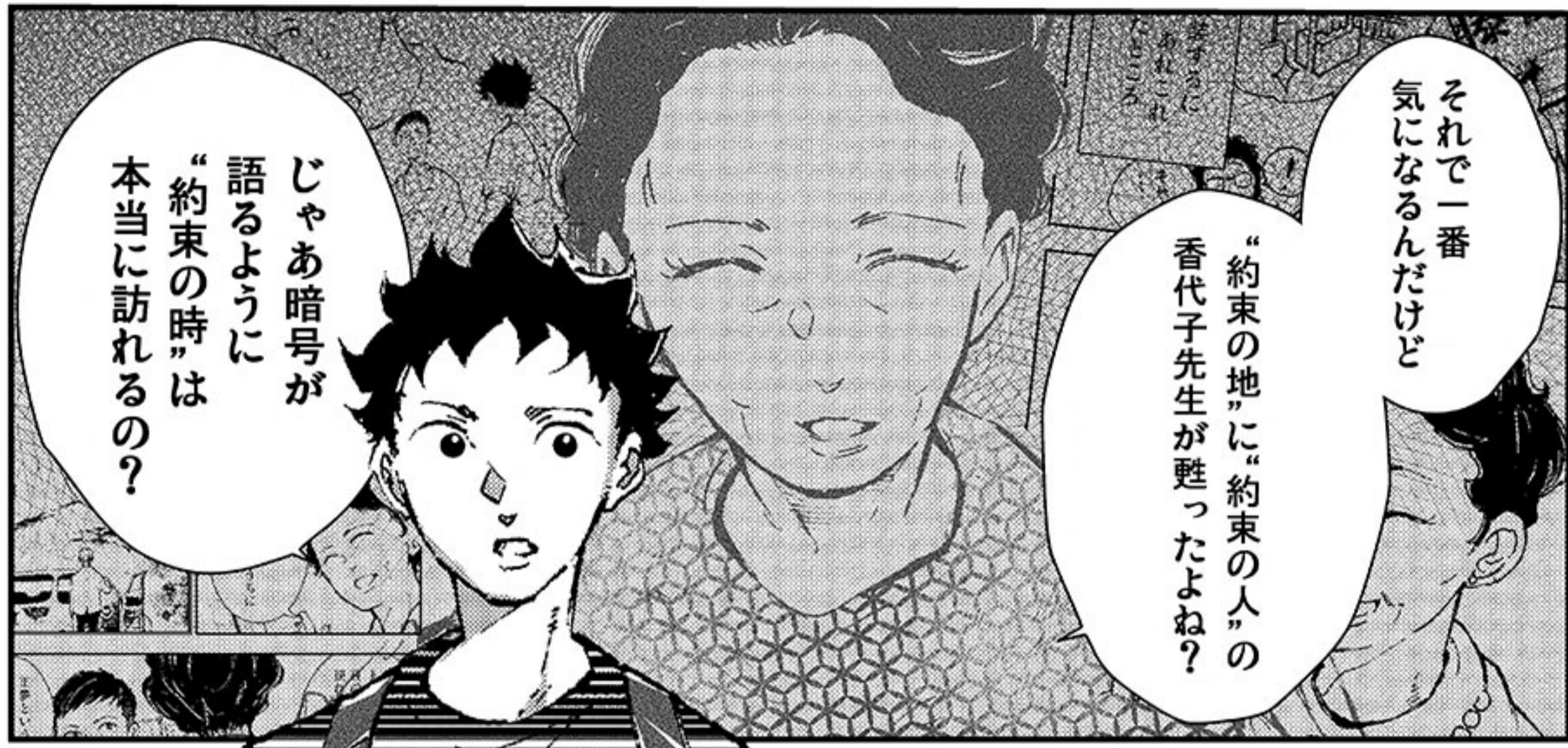
“星の暗号”は
地球の終わりと
始まりの

“約束の時”と
“約束の地”を
示しているんだ

“星の暗号”も
“太陽の暗号”と
同じように

“神さまの大きいなる救いの計画”を
伝えていたんだよ

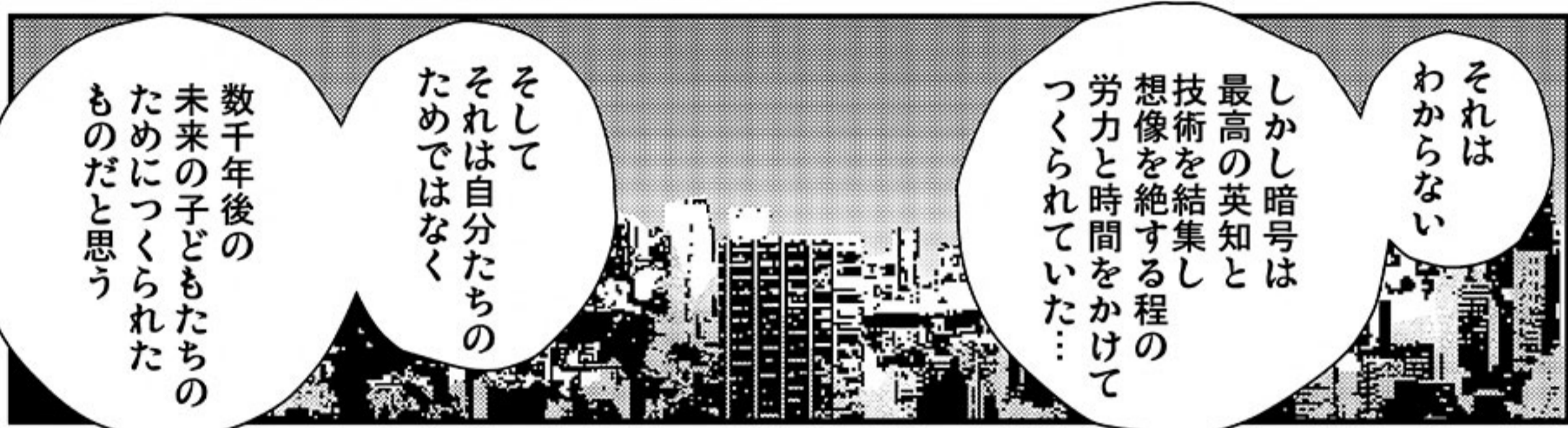




それで一番
気になるんだけど

“約束の地”に“約束の人”の
香代子先生が甦ったよね？

じゃあ暗号が
語るように
“約束の時”は
本当に訪れるの？

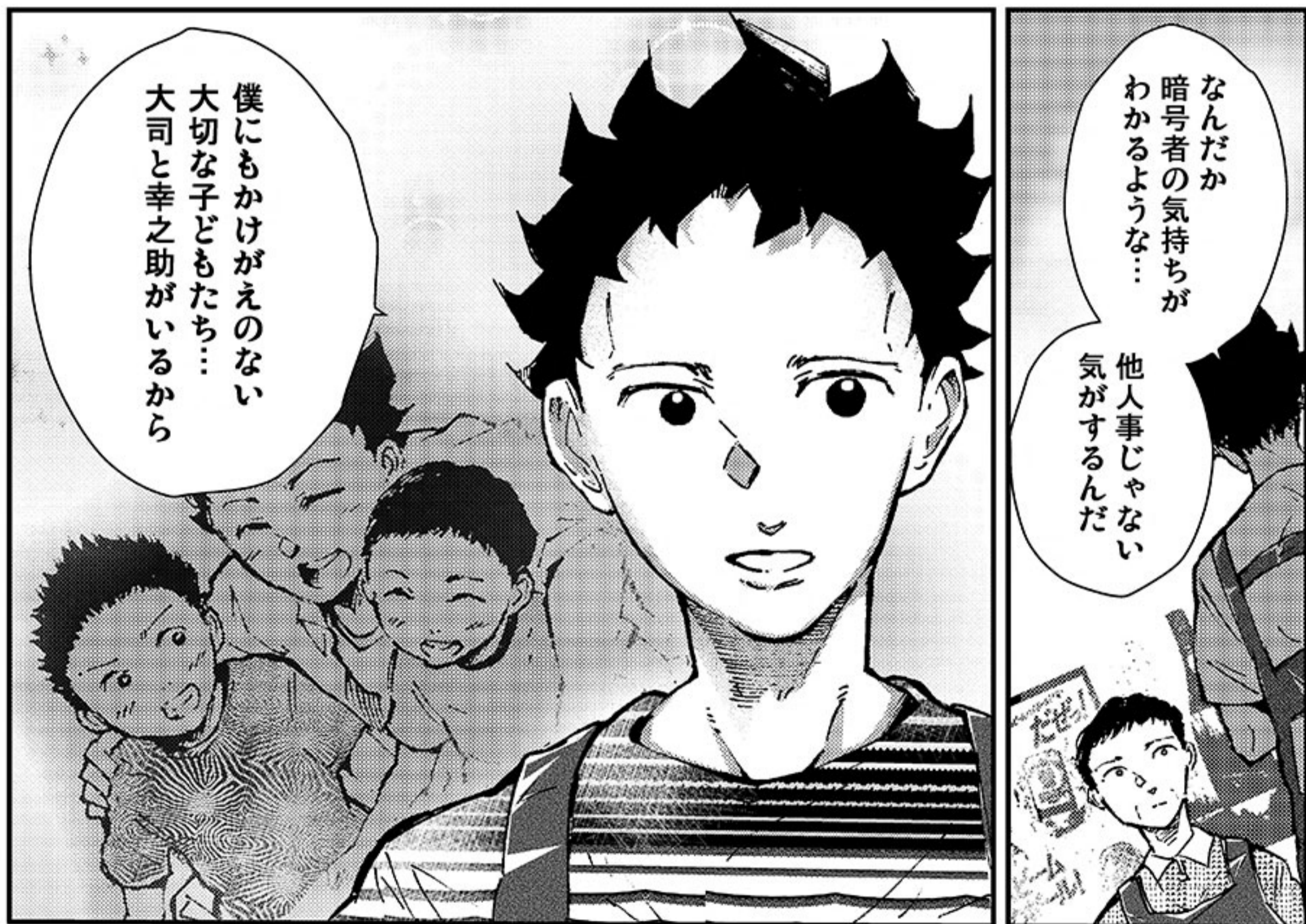


それは
わからない

しかし暗号は
最高の英知と
技術を結集し
想像を絶する程の
労力と時間をかけて
つくられていた…

そして
それは自分たちの
ためではなく

数千年後の
未来の子どもたちの
ためにつくられた
ものだと思う



なんだか
暗号者の気持ち
がわかるような…

他人事じゃない
気がするんだ

僕にもかけがえのない
大切な子どもたち…
大司と幸之助がいるから



もしかしたら
“約束の時”への
準備は

“新しい時代”の
世界中の子どもたちへの
最高の貢献になるかも
しれないな…



私はこの暗号から
暗号者の
愛と使命を感じとる
ことができる

暗号とは
暗号者からの
未来の子どもたちへの
メッセージでは
ないだろうか？

しかし
それをどう受け止めるか
どう生きるかは
自分自身で決めるしかない

私はそう思う